

令和4年度 登米市 下水道事業 会計決算の概要

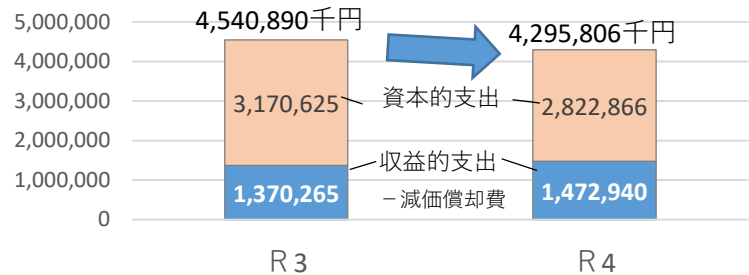
1 決算規模

42億9,580万 6 千円

(= 収益的支出 - 減価償却費
+ 資本的支出)

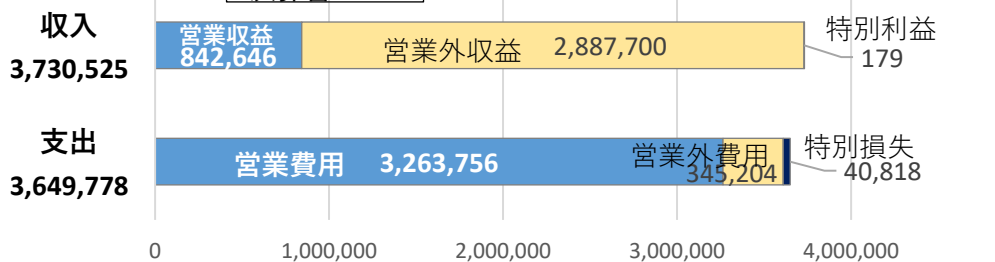
※前年度比 約 2 億4,500万円の減
⇒ 令和 5 年度への繰越事業の増加等
による建設改良費の減少 (約 3 億 5
千万円) によるもの

【決算規模の前年度対比】

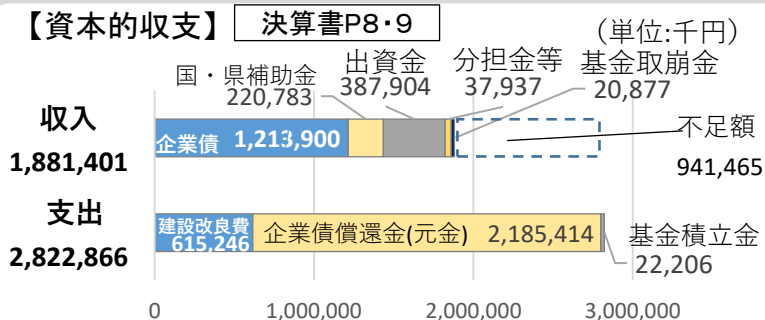


2 予算執行状況 (消費税込み)

【収益的収支】 決算書P6・7



【資本的収支】 決算書P8・9



※ 主要事業

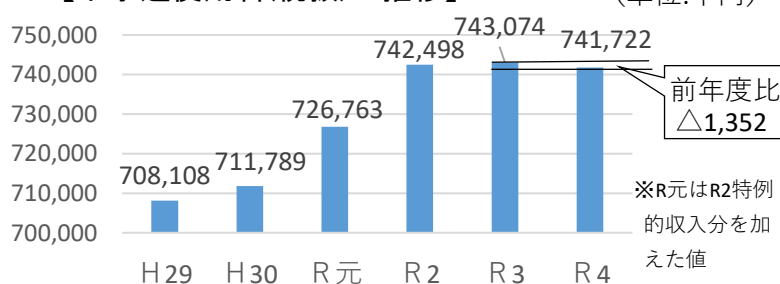
- ・ 下水道使用料改定の決定
- ・ 公共下水道管渠整備を実施
- ・ 大東地区雨水排水路の整備
- ・ 処理施設の更新
- ・ 合併処理浄化槽の整備(78基)

3 経営状況 (損益詳細 消費税抜き)

決算書P13

(1) 営業収益 768,474千円 (前年比 5,037千円)

【下水道使用料(税抜)の推移】



下水道使用料収入が減少

- ・ 一人当たりの汚水排水量の減少
- R3比
水洗化人口：増減無し
一人当たりの排水汚水量 0.5m³減

他会計負担金は増、手数料収益は減

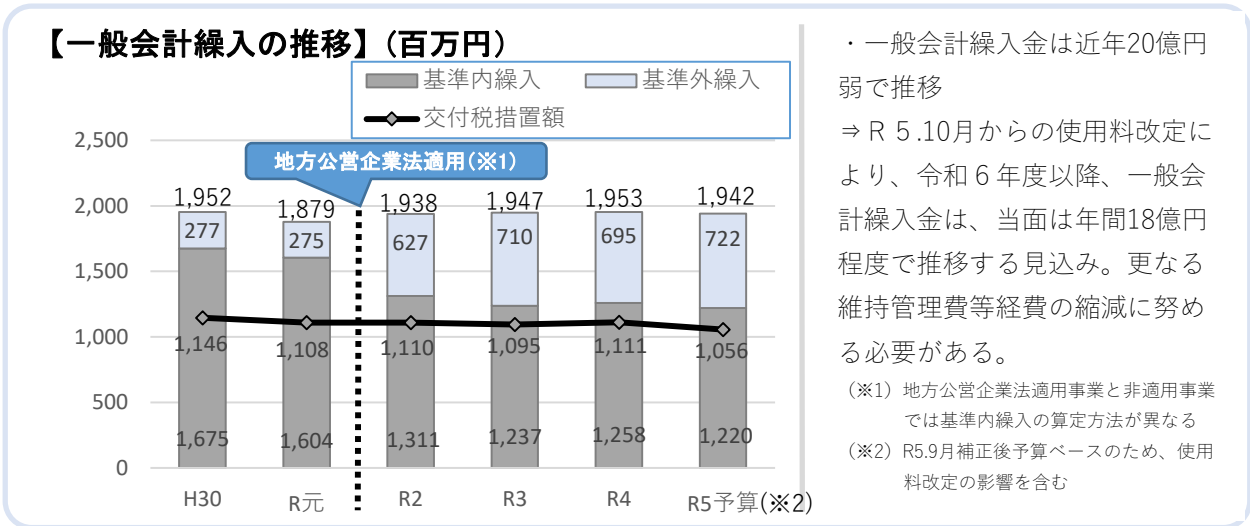
(2) 営業費用 3,182,109千円 (前年比 59,030千円)

固定資産除却費 (33,568千円)、動力費 (27,545千円) の増が主因

(3) 営業利益 △2,413,635千円 (前年比 △53,993千円)

《主な増減要因》

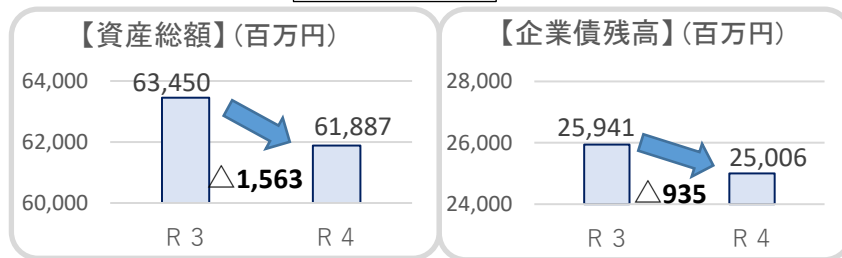
(4) 営業外収益	2,864,262千円 (前年比 △15,221千円)	長期前受金戻入等の減
(5) 営業外費用	363,012千円 (前年比 △34,272千円)	企業債利息の減
(6) 経常利益	87,615千円 (前年比 △34,942千円)	
(7) 特別利益	179千円 (前年比 △27千円)	過年度下水道使用料更正の減
(8) 特別損失	37,109千円 (前年比 30,981千円)	R4.3地震、R4.7大雨の災害復旧費の増
(9) 当年度純利益	50,685千円 (前年比 65,950千円)	



・最終予算における予定損益計算書より純利益が90,555千円増(純損失が減)。主な要因は、下水道使用料の増(10,866千円)、委託料(37,015千円)、修繕費等(11,378千円)、予備費(11,832千円)の減。

4 財務諸表の調整

- (1) 損益計算書 **決算書P13** 当年度純利益50,685千円、当年度未処理欠損金127,152千円
- (2) 剰余金計算書 **決算書P14・15** 他会計繰入金(出資金)387,904千円を資本金へ繰入など
- (3) 貸借対照表 **決算書P16・17** 資産の減価償却の進行により、前年度比1,563,546千円減少



- (4) 事業報告 **決算書 P33・34** ※水洗化人口の内、本市下水道使用者はR4で49,004人(前年度比 0)



- (5) キャッシュ・フロー計算書 **決算書 P42**

